

ゴルフ一筋の彼が  
7年間ひそかに育み続けた純愛

# 石川遼

20

同級生カノジョ

# 婚約者

20

# 確執中のメと

54

◆遼くんはGFとして、彼女はゴルフ関係者の間では有名だった。その恋模様を知りたくて、取材をしていたら、遼くんのお父さんがなぜか烈火のごとく怒り出した。息子のためを思ってなのか、あつちでもこつちでも怒鳴りまくる父に、20才になった遼くんも思うところがあるようだ。

10月16日夕方。その日は毎年秋に開催される日本のプロゴルフメジャー大会「日本オープン」最終日だった。埼玉県松伏町にあるプロゴルフファーン・石川遼（20才）の568坪の敷地に建つ大豪邸には、バター練習ができるほどの庭と、大型車がゆうに6台は止められる広い駐車場が併設されている。この豪邸は石川が親孝行のために一括購入したもので、両親のほか、妹で女子ゴルフファーンの葉子ちゃん（15才）、8才年下の弟・航くん、そして祖父母の7人が暮らしている。

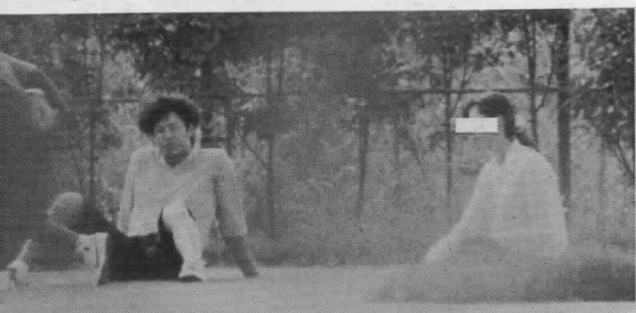
その日、A子さん（20才）の軽自動車は、石川の帰宅前からこの駐車場に止まっていた。女性が運転しやすいその車は、大きな高級車が並ぶ石川宅の駐車場でいちばん目立っていた。

翌17日夕方5時ごろ。A子

女性セブン 次号の発売は 11月2日(水)です!



男同士でカワイイ女子の話をすると必ず名前が挙がった



中学校時代の友人がこう明かす。「見た目はもちろんですが、性格もかわいいんです。いかにも女の子らしい控えめでおしとやかな感じ。男の子が守ってやりたくなるようなタイプの子でした」

「A子の彼氏は一度も聞かれません。かなりの数の男子が告ったと思うんです。けど、全て断つてた。あるとき、女子だけでなく、男子からも人気のヤツが告ったときだ。友達としては楽しんだけど、彼氏とか彼女にはなれない。断つてた。あまりにガードが堅いから、隠し恋人がいるんじゃないか、

「見た目はもちろんですが、性格もかわいいんです。いかにも女の子らしい控えめでおしとやかな感じ。男の子が守ってやりたくなるようなタイプの子でした」

AKB48のコンサートに行きたい

若きスーパースターの石川の背後には、これまでもずっと勝美さんの姿があった。保護者として、またゴルフのアドバイザーとして息子を見守っているのだから、一方、トラブが絶えなかつた。

い、同級生で彼女を知らない男子はいない

さんが運転する軽自動車。再び石川宅の駐車場に現れた。白いシャツにグレーのダウンベストを羽織り、足下は黒のブーツ。女優の水川あさみ(28才) 似のA子さんは、さらさらのセミロングヘアを白いシユシユでボニーテールにしていた。その助手席に座っていたのが赤いチェックシャツ姿の石川だった。ふたりはそろって豪邸の中へはいっていった。

「石川の女性関係」を巡って情報錯綜 あるゴルフ関係者がこう証言する。「ふたりは中学校の同級生なんです。家も近所で家族ぐるみにつきあひがある幼なじみですね。高校が別々になつて、遠くがスーパースターになつてからも、いつも変わらずそばにいたのがA子さんだったんです。遠くはツア1中も、こっそりカノヲヨを連れてきたりしていましたよ。」



お泊まりした翌朝、A子さんは石川宅から車で10分ほどのところにある自宅に帰宅した。

「A子さんは、清楚なルックスながら、中学・高校とバレー部に所属するスポーツ好きの女性だった。高校時代の男子同級生がこう話す。「スゲー細くてカワイイので、学年でもすごい人気がありました。身長が160cm超えて大柄が目立つのに、顔はすごく小さいし、脚の細さとキレイさで学年イチでした。男同士でカワイイ女子の話とかすると、必ず名前が挙がったし、同級生で彼女を知らない男はいないという存在でした」

前田敦子(20才)は「コンサートに来てほしい」、大島優子(23才)は「来てくれたら最高のパフォーマンスをした」「崖岸みなみ(18才)は「遠くんと打ち放しデートをしたい」などと返答した。

11月10日号 目次

女性セブン

Table with multiple columns listing magazine content, including titles like '家族の幸せ', 'カラ-実用', and '大特集最先端「アンチエイジング」', along with page numbers.

女性セブン次号の発売は11月2日(水)です!

# 「住所を突き止めて家に押しかけてやる」

「主人が話したい」といって  
いると、その場で携帯  
を手渡されたのだ。耳にあて  
ると、電話の向こうからいき  
なり勝美さんの怒鳴り声が響  
いた。

「電話番号、住所、氏名を告  
えろ」「お前の家族の携帯番  
号も答えろ！ お前、子供も  
いるんだろ？ 子供が聞いた  
らどう思う、親がこんな仕事  
してるって知ったら」

次々とまくしたてた。  
ともかく勝美さんは、本誌  
カメラマンに執拗に住所を聞  
いてきたのだが、警察に答え  
るならまだしも、勝美さんに  
わざわざ教える義務はない。

謹白

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、格別のご高配を賜りましてまことにありがとうございます。

さて、この度、石川遼のプライベートな事柄（女性との交際）に関し、石川家及びその  
周辺、並びにスポンサー企業様に対して、不意の夜間の訪問や尾行などの、社会常識の限  
度を越えた取材活動が行われた事実がございましたが、当方といたしましてはかかる事柄  
に大変困惑しております。

現在、石川遼にはお付き合いしている女性は存在いたしますが、二人のためにも、また  
スポンサー企業様や競技関係者等へのご迷惑を避けるためにも、関係各位には温かく見守  
っていただければ存じます。また、この件に関して当方および石川遼本人より何らかの  
発表およびコメントを発することはございませんのであらかじめご了承ください。

謹白

答えずじまら、勝美さんは  
こういったという。  
「車のナンバーはわかっている  
どんなことをしても、住所  
を突き止めて家に押しかけて  
やる」

勝美さんはそういつて一方  
的に電話を切ったのだが、そ  
の後、本誌カメラマンは所轄  
の交番にまで出頭させられた。  
交番では、警官がわざわざ生  
活安全課に問い合わせ、同課  
から「違法行為はなかった」  
とお墨付きをもらい、解放さ  
れている。合計4時間ほどの  
やりとりだった。

しかし勝美さんの「暴挙」  
はこれだけで終わらなかった。  
編集部には勝美さんからの  
電話が1日何度もはいり、  
突然配達証明つきの質問状  
まで送られてきた……。

交際発表の文書（上参照）  
で、「社会常識の限度を超  
えた」と指摘された取材活  
動はこの一件を指している  
のだろうが、「石川遼の父  
親」として全国で熱心に講  
演活動を行い、子育て本ま  
で出版している勝美さんの  
発言や対応こそ、社会常識  
では測れないものがあると  
思うのだが……。

さらに、この文書には、  
《スポンサー企業様に対し  
て、不意の夜間の訪問や尾  
行》とあるが、断っておく  
が、そんな取材は一切して  
いない。

ともかく本誌は、記事作

りを進めていたところ、それ  
を知った勝美さんが、24日夜  
に相手のプロフィールも詳細  
も一切明かさないう前代未聞の  
交際発表をしたのだった。そ  
れほど慌てる裏にはよほどの  
ことがあったのだろう。  
スポーツ界でも芸能界でも  
かなり異例となる勝美さんの  
行動も、「遼を守る」ことが自  
分の役目」と豪語する彼なり  
の手段だったのかもしれない。  
その勝美さんに、石川はこ  
れまでどんなときも従順に従  
い、二人三脚で歩いてきた。  
しかしここへきて、親子の間



「ブリヂストンオープン」では、イライラし  
た気持ちをクラブにぶつけるシーンも……。

実際、今季の石川は、まだ  
1勝もあげられていない。そ  
んなイライラもあったのか、  
先日の「ブリヂストンオープ  
ン」最終日では、スコアがう  
まくのびず、クラブを思い切  
りクラブに叩きつけるシーンも  
あった。  
「生涯、コーチは父親」と話  
していたものの、最近になっ  
て石川はジュニア時代に指導  
してもらっていた佐々木孝則  
プロとコーチ契約を結んだ。  
こんな石川の父親離れは、  
突然始まったことではなかつ  
た。

に確執が生まれていたという。  
『週刊文春』10月27日号が、  
《石川遼 20歳の反抗期》と  
のタイトルで、練習中の石川  
が勝美さんの説教に目も合わ  
さず、「ハイハイ」と聞き流  
すなど、これまでの親子関係  
に異変が起きたことが報じら  
れた。

「確かに遼くんをここまで育  
てあげたのは勝美さんですが、  
ゴルフに関してはやっぱり素  
人。これ以上かかわれば遼く  
んも頭打ちでしょう」（スポ  
ーツ紙記者）

「試合後に行われる会見では、  
勝美さんが遼くんのことを気  
にしてか、急に、会見はな  
し！」と叫び出すこともある。  
でも、それを見ていた遼くん  
自身が、10分もしないうちに  
「じゃあ囲みますか？」な  
んて、大人な対応をしてくれ  
る。こんなことはよくあるん  
です。

周りの先輩プロも、勝美さ  
んともめたくないからといっ  
て、遼くんには積極的にかか  
わろうとしない。  
だから、彼の周りには父親  
の管理下にある、チーム遼。  
しかいなくなってしまう。  
ゴルフ界では孤立してしまっ  
ている状態なんです。  
そんなことにも遼くんは、  
ちゃんとNOを突きつけたい  
と思っっているはずだ。（前  
出・全国紙記者）  
そう思えるようになったの  
も、やはりA子さんの存在が  
大きかったのだろう。出会っ  
て7年。ふたりで密かに育ん  
できた純愛は、石川に、父親  
から離れ、自分の手で新しい  
家族を作るという未来絵図を  
見せていたのだろう。  
これまで20年間、父親の管  
理下にあった石川。時に厳し  
く、時にやさしく、自分が歩  
むべき道をいつも指し示して  
くれた父親を、常に彼は尊敬  
してきた。しかし、彼ももう  
20才。いつまでも子供では  
られない。時には父親に正面  
からぶつかりあいながら、  
「男」になっていくこともある。  
そのためにも、大切にしてい  
きた女性と、新たな家庭を築  
き、巣立っていくことを決め  
たのだろう。  
今回のことで、大手を振っ  
て彼女と歩けるようになった  
遼くん。お父さんのお怒りを  
よそにほくそ笑んでいるのか  
もしれない。

女性セブン次号の発売は11月2日(水)です!